発電機取扱説明書

Company Name:　HAIGE　Industry Co., Ltd
Company Address:〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656　☎0276-89-8605
Http：haige.my-store.jp

目　　録

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

各部の制御・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

発電機の使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

使用前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

エンジンのかけ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

エンジンの停止方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

長期間使用しないときの保管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

注意文の⚠警告・⚠注意・注 の意味について

ご使用上の注意事項は⚠警告・⚠注意・注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

このたびはハイガー産業発電機をお買い上げ賜わり厚くお礼申しあげます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読み頂き本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして頂いて、いつまでも安全に能率よくお使い下さるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

1.1　ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1.2　この発電機の使い方を覚えることがとても重要です。特に発電機のエンジン止め方を必ずご使用になる前に覚えてください。

1.3　安全注意事項:

a. ご使用になる前に発電機の使い方、使用上の注意事項、安全注意事項を熟知する必要があり、これらの注意事項を従って正しく使用してください。

b. 本取扱書および当社ホームページに掲載されている部品、付属品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないで下さい。

c. 発電機本体に貼られた警告(warning)、注意(notice) ラベルは、ご使用時の安全操縦をよく説明しているので、ぜひ従って正しく使用してください。

d. 未成年者、子供、または使い方よく分からない方のご使用はご遠慮ください。

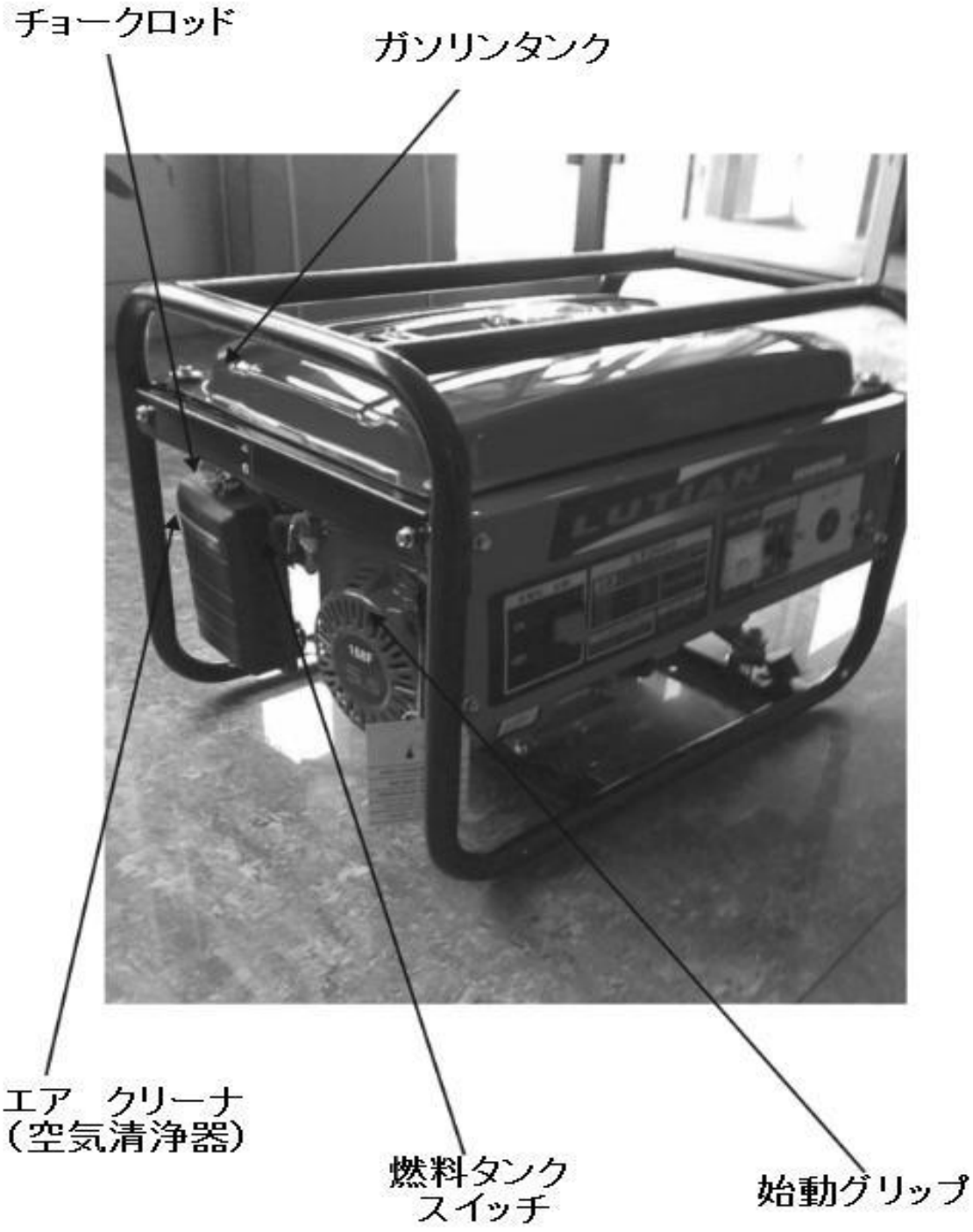
⚠ e. 警告! オイルとガソリンはとても燃えやすいため、密閉室内での注入をお止め下さい。またエンジン運転中の注入もぜったいおやめください。たばこはご遠慮ください。万が一、ガソリン漏れが発生した場合は、漏れ原因を究明し、部品交換が必要となる場合は、当社までご連絡ください。

f. ご使用時に通気パイプに近寄り、または触ることをお避け下さい。稼働時通気パイプの温度は 80°に上られるため。排気パイプの近く（1 メートル以内）に物を置かないで下さい。

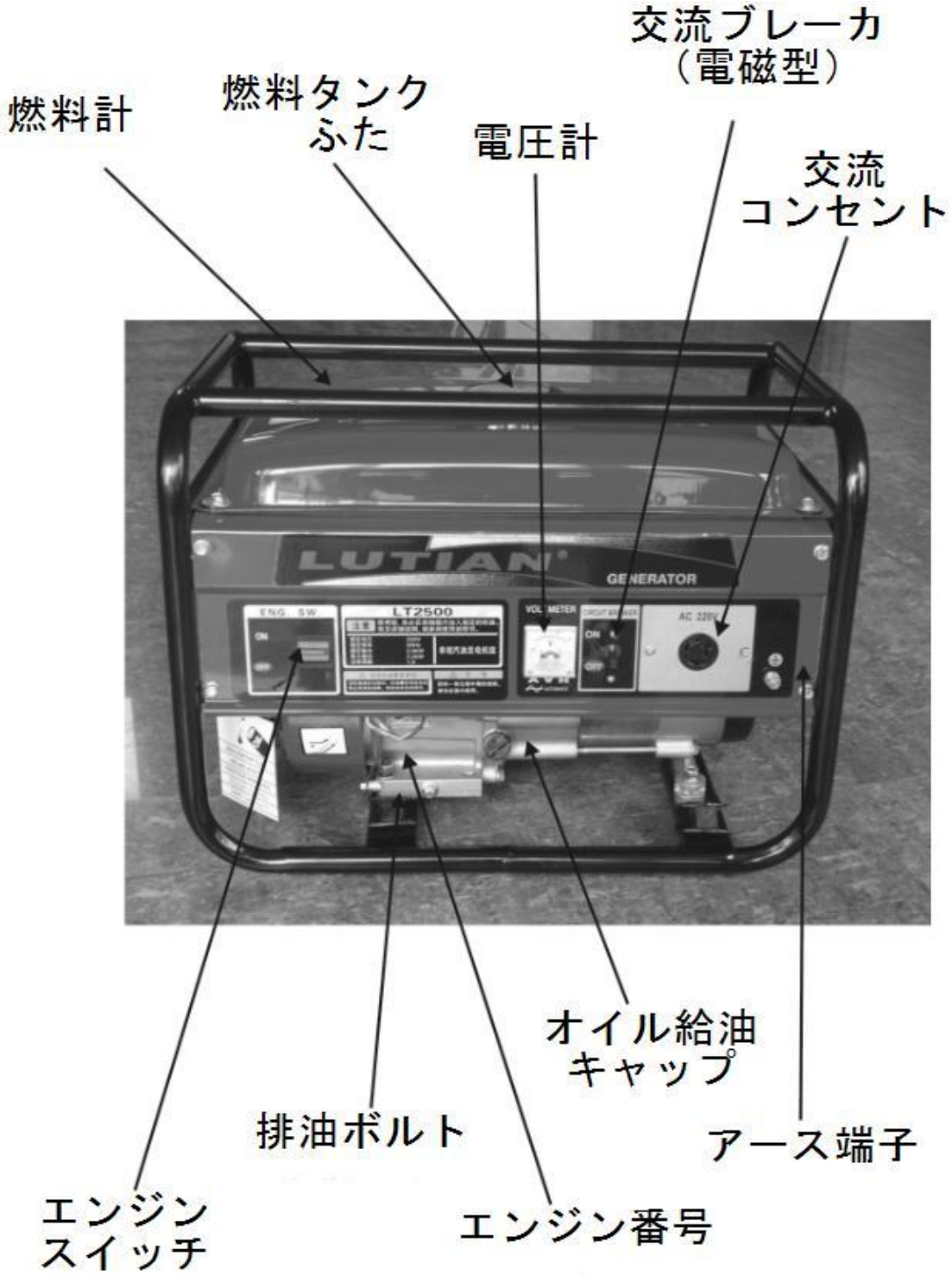
g. 一酸化炭素中毒:排気ガスの中に含まれているため、密封部屋内でのご使用はお控えてください。通気の良い場所でお使い下さい。

h. 感電危険：屋外に雨、雪などの気候で、または噴霧機械の噴射範囲内に、または手が濡れている場合はなどは、感電する危険がありますので、発電機機体及び周囲環境の乾燥を維持して下さい。

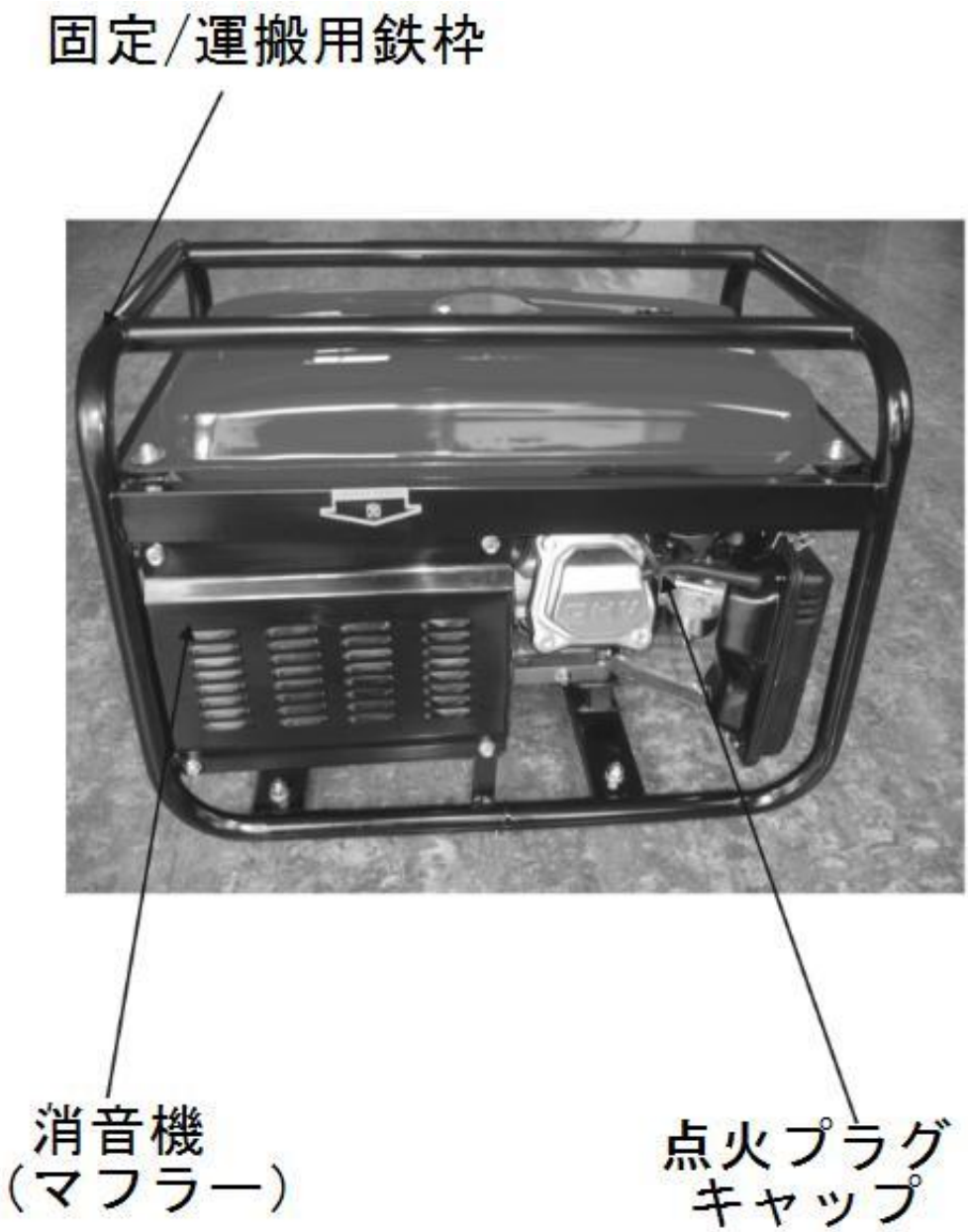
各部の名称



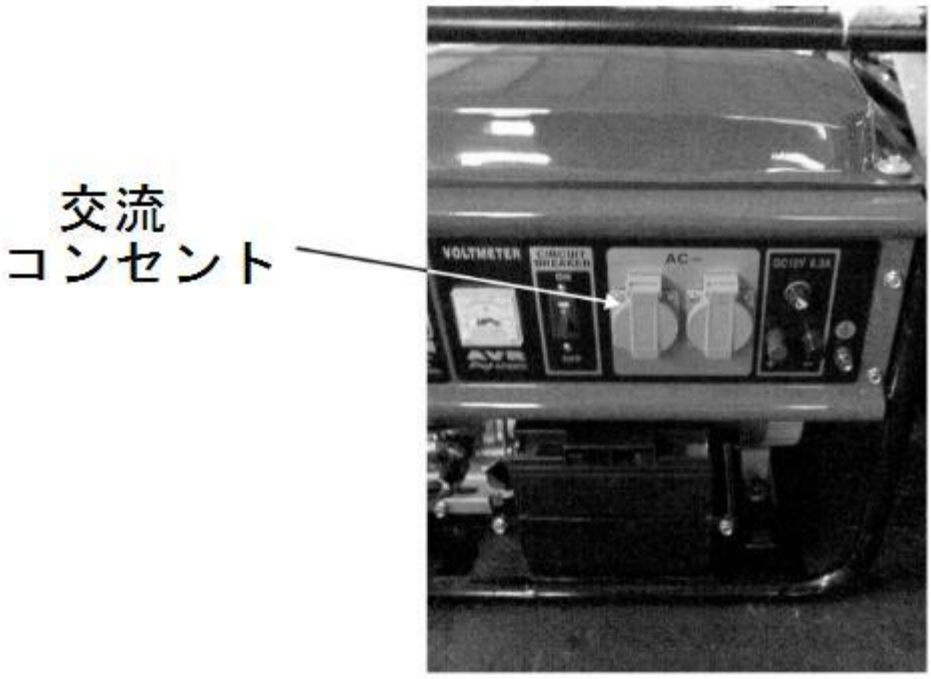
各部の名称

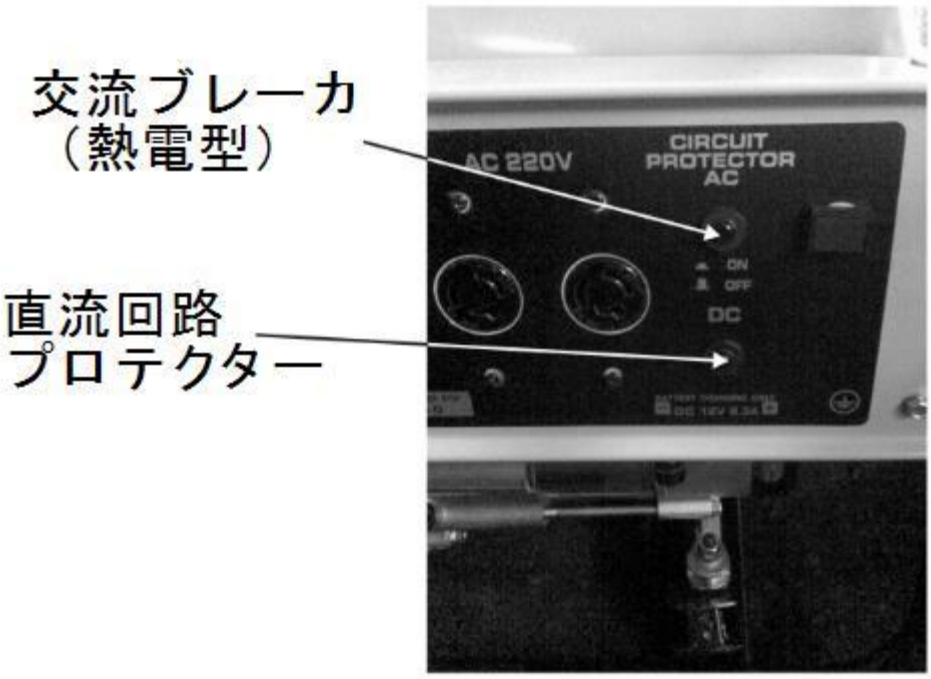

交流ブレーカ
（電磁型）
燃料計
燃料タンク
ふた
電圧計
交流
コンセント
LUTIAN
GENERATOR
LT2500
オイル給油
キャップ
排油ボルト
アース端子
エンジン
スイッチ
エンジン番号

各部の名称



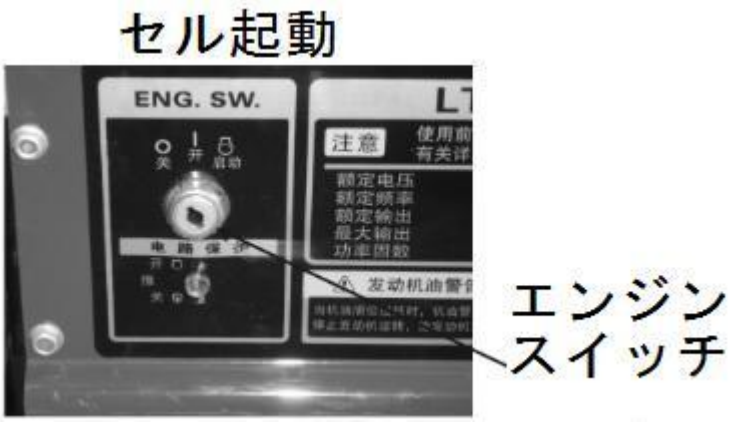
他機種


交流
コンセント
VOLTMETER
AC


交流ブレーカ
（熱電型）
直流回路
プロテクター
AC 220V
CIRCUIT
PROTECTOR
AC
ON
OFF
DC

各部の制御

エンジンスイッチ

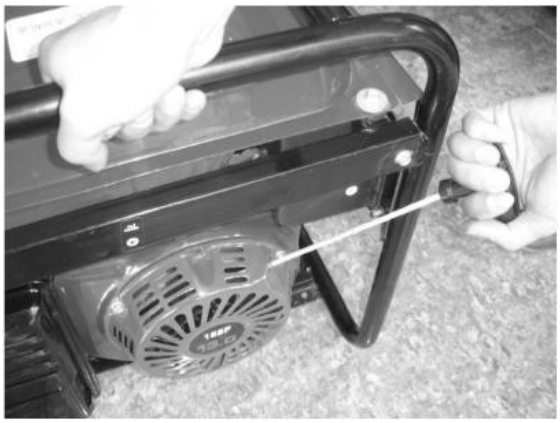


関　〇：　エンジンストップ。キーを抜き取り/差し込むができます。

開　|　：　エンジンかけた後、ここへキーを戻します。

啓　動：　エンジンをかける

エンジンかけたあと、キーを「開　|」の位置に戻します。エンジンをかけるたびに、5 秒以内にしてください。5 秒以内にはエンジンかからなかった場合は、10 秒待ってから再起動してください。



始動グリップのワイヤを引っ張って、エンジンをかけます。 注意！

・まず始動グリップを軽く引き、重くと感じたところで一旦止め。始動グリップを一度戻してグリップを勢いよく引くとエンジンがかかります。始動グリップは図の方向に引いて下さい。

・ワイヤを引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

・運転中はスタータワイヤを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

各部の制御

ガソリンタンクスイッチ

ガソリンタンクスイッチは燃料タンクとキャブレターの間にあります。

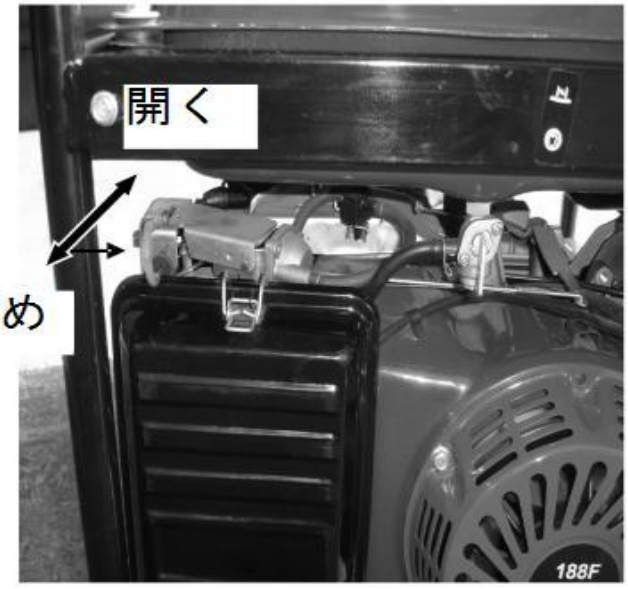
・レバーが［ON］位置の場合は、ガソリンが燃料タンクからキャブレターへ流れ込み、

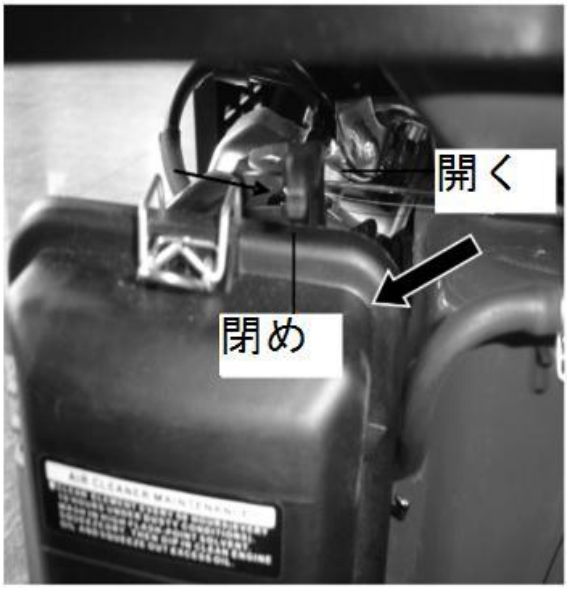
・レバーが［OFF］位置：ガソリンの流れ込みを止めます。

注意！　発電機を使用しないときは、必ずレバーを OFF 位置に戻してください。

チョークロード

気温が低い時はチョークロードを何回か引くと、燃料がキャブレターの方に流れ込み、エンジンがかかりやすくなります。チョークロードが閉め位置のときは燃料がキャブレターに流れ込みます。

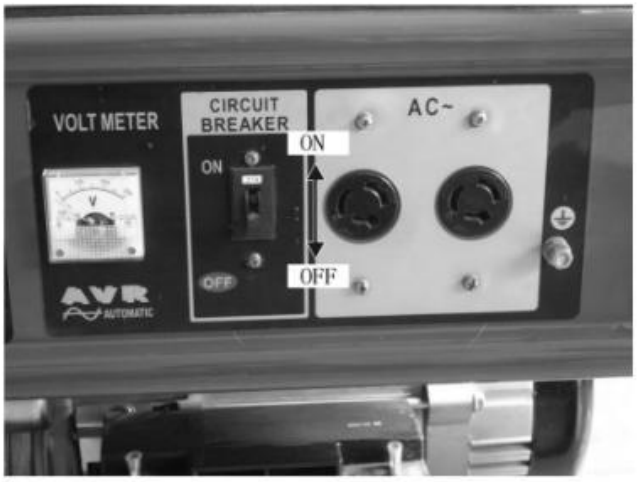




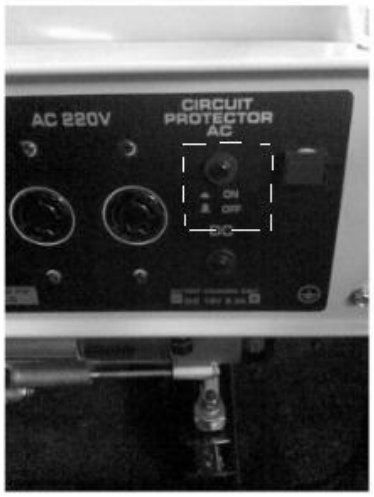
各部の制御

交流ブレーカ

回路にショート、または発電機明らかに過負荷のときは、ブレーカが自動的にシャットダウンする。（OFF 位置）に落ちる。この場合は接続した電器器具の具合をチェックし、過負荷であるかを確認した上で、ブレーカを再度 ON してください。



電磁型



熱電型

アース端子

発電機をアースする端子です。
使用器具を大地にアースしたときは、発電機も必ずアースしてください。

オイル不足アラームシステム

曲軸タンクの中のオイル不足により機体損害を防止するシステムです。曲軸タンクの中のオイルが安全レベル以下に消耗される前に、オイル不足アラームシステムが自動的にエンジンを止めます。（エンジンスイッチは ON 位置に残るまま）

各部の制御

直流端子

直流端子は１２Ｖの自動車用バッテリー類充電だけに適用です。
赤い端子は正極（＋）、黒い端子は負極（－）。バッテリー充電は極性を間違いなく接続してください。
（バッテリーの正極対発電機の正極、　バッテリーの負極対発電機の負極）
誤って接続するとショートや、爆発、故障の原因となります。コード取り外しはエンジンを停止した後、負極、正極の順で行います。

直流回路プロテクター

直流回路プロテクターは、発電機過負荷、バッテリー故障、または接続不当の場合は自動的にバッテリーとの回路をシャットダウンする。

負極端子
（黒色）

正極端子
（赤色）

アース端子

直流回路
プロテクター

※機種により、プロテクターがない機種もありますので、ご了承ください。

発電機の使い方

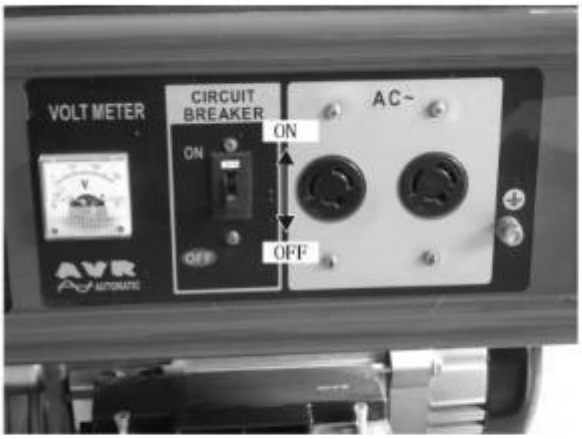
警告！　発電機を建設電気回路に接続する場合は、必ず法律と電気操縦標準に基づき、発電機電源と市電を隔離してください。不適切な接続は、発電機の電流が回路に流れ込み、作業者が感電する危険があり、また市電が発電機に流れ込み、爆発、火災になる危険があるため、必ずご注意ください。

注意！　ひどい過負荷はブレーカ始動によりエンジンをシャットダウンできるが、発電機の最大負荷ぎりぎりまで長時間使用すると、エンジンの使用寿命を縮めるだけです。発電機が最大電力での運転を何分間以内に控えてください、連続運転は、定額出力電力を超えないで下さい。

交流発電

1．　エンジンをかかります。

2．　交流ブレーカを［ON］にします。



電磁型ブレーカ

熱電型ブレーカ
押した状態はON

3．　家電の電源コードを発電機の出力 AC コンセントに挿しこみます。
多数家電を同時に使うときは、合計定格消費電力は発電機の最大出力電力以内に確認下さい。
過負荷の場合は、ブレーカが自動的に落ちる（OFF）ので、負荷を減らして、数分間待ってから、ブレーカを上げて（ON）発電機を再起動してください。

発電機の使い方

直流発電

直流端子は１２Ｖの自動車用バッテリー類充電だけに適用です。

バッテリーの充電コードを接続する：

１．　車載バッテリーを充電する前に、車のアース配線をバッテリーから外してください。または車の安全取扱書を厳格に基づき、バッテリー充電前の準備を整って下さい。

警告！　バッテリーが揮発した機体は爆発の可能性があるため、飛び火、タバコは厳禁です。また充電時と使用時は風通しよいの環境を作って下さい。

２．　充電コードの正極コードの片側をバッテリーの正極（＋）端子と接続する。

３．　充電コードの正極コードの片側を発電機の直流正極（＋）端子と接続する。

４．　充電コードの負極コードの片側をバッテリーの負極（－）端子と接続する。

５．　充電コードの負極コードの片側を発電機の直流負極（－）端子と接続する。

６．　発電機を起動して充電開始する。

注意！　充電時には、車のエンジンを起動しないでください。車または発電機を壊す恐れがあります。過負荷、過度電流、または充電コード接続不適切によりブレーカ落ち、またはフューズ焼け切れの場合は、数分間待ってから、ブレーカを上げ、同じ型番のフューズを交換して、エンジンを再起動してください。もし、改善されずまたブレーカが落ちた場合は、充電を停止し弊社までご連絡ください。

バッテリーの充電コードをはずす：

１．　発電機を止めます。

２．　発電機の負極（－）端子から充電コードの負極（－）端子をはずし

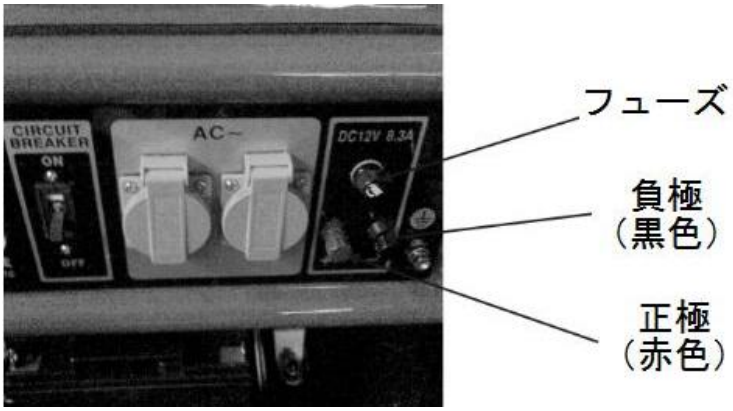
３．　バッテリーの負極（－）端子から充電コードの負極（－）端子をはずし

４．　発電機の正極（＋）端子から充電コードの正極（＋）端子をはずし

５．　バッテリーの正極（＋）端子から充電コードの正極（＋）端子をはずし

６．　車のアース配線をバッテリー負極（－）端子に接続する

７．　バッテリー配線を車体に接続する。



使用前の準備

エンジンオイル　注意！

・エンジンオイルは発電機性能と使用寿命を影響する主要な要因であります。
　非除垢オイルと２サイクル混合オイルが十分な潤滑特性を満たさないため、使用しないようを勧めます。
・毎回発電機を起動する前に、まずはエンジンオイルの量をチェックしてください。

１．　発電機を平坦な地面に置き
２．　オイル計をはずしきれいに拭き取ります。
３．　オイル計をオイルタンクに差し込み、オイル量を測ります。
４．　もし測ったオイルの量がオイル計の下限近くにある場合は、キャップを外して、オイルを上限まで入れてください。
５．　キャップとオイル計を元に戻して、しっかり締め付けます。

ガソリン補給

燃料計を見て、下限に行ったところはガソリン補給してください。

警告！　ガソリンが非常に燃えやすく、爆発し易いため、補給時には厳重にご注意ください。

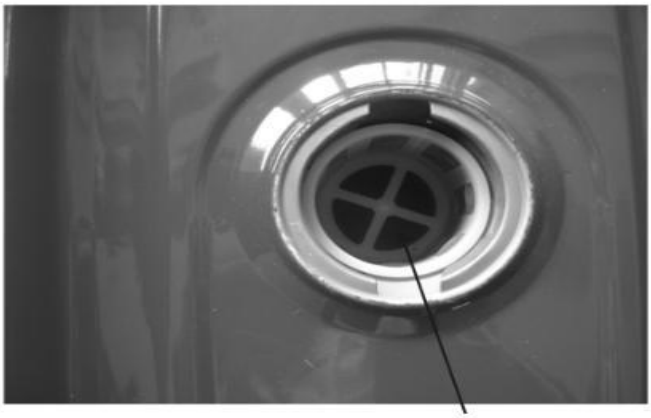
・まずエンジンをストップ、　周りには熱源、飛び火など火種のないことを確認。
・室外で補給してください。
・こぼれたガソリンはすぐきれいに拭き取って下さい。

燃料補給がエンジンの温度が常温に戻るまで。平坦な場所で補給してください。補給後、ふたをしっかりしめつけてください。

飛び火が出る可能性のある場所で補給はぜったいおやめ下さい。ガソリンは電気指示ランプ、電動工具、作業機械などを離れて保管してください。

こぼれたガソリンは火災を引き起こす危険があるだけでなく、環境破壊にもなるので、ただちにきれいに拭き取りましょう。

使用前の準備



ガソリンの種類：

無鉛ガソリンをご使用ください。
無鉛ガソリンはエンジンと点火プラグのところに発生したちんでん物が少なく、排気システムの使用寿命を延長することができます。
長時間放置、または汚れたガソリン、オイルをぜったい使用しないでください。
ガソリンタンクには汚れと水を絶対入らないようご注意ください。
負荷が限界近くのときは、たまには軽い「ポン」（金属ぶつかる音）、心配する必要がありませんが、長続いてはいけないこと。
負荷が通常範囲以内でも、「ポン」の音がが出る場合は、ガソリンの種類を交換する必要があります。それでも音が消えない場合は、弊社までご連絡ください。

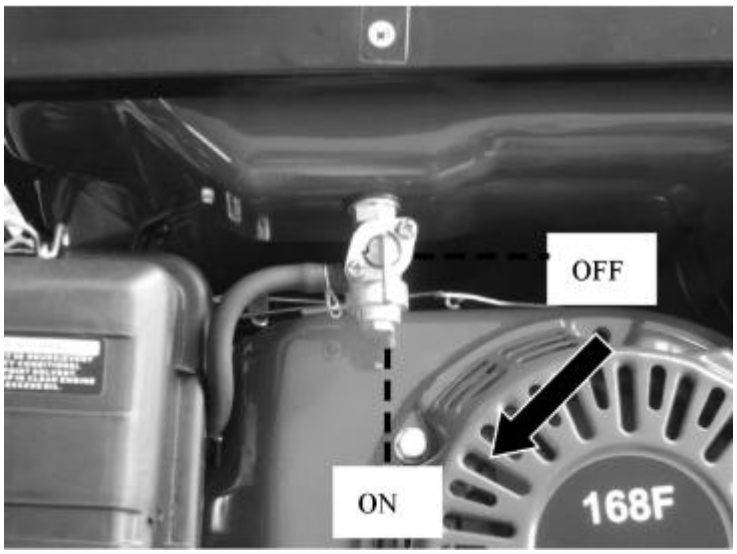
注意！　軽い「ポン」（金属ぶつかる音）が長く続くと、発電機に損害を与えます。この状態での使用は不適切です、保障範囲内ではありません。また不合格なガソリンを使い、燃料系統に損害を与えた故障も保障範囲内ではありませんので、ご注意ください。

エンジンのかけ方

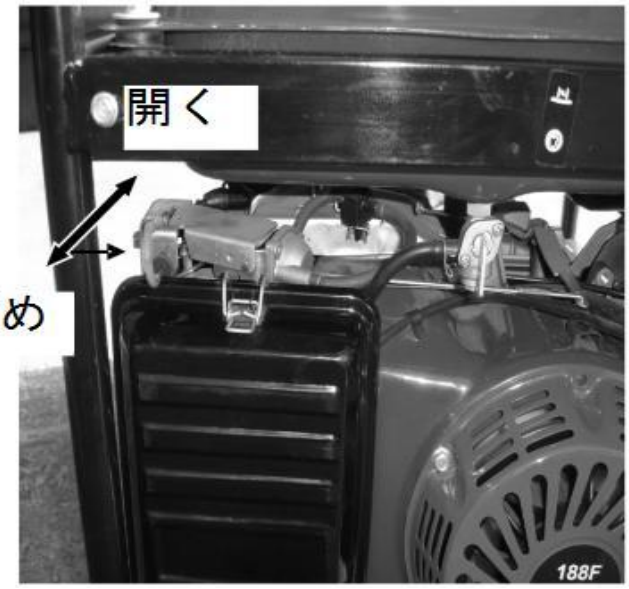
手動起動

1．　発電機のコンセントから一切の電器負荷を外してください。負荷をつないだ場合は、エンジンがかけにくくなります。

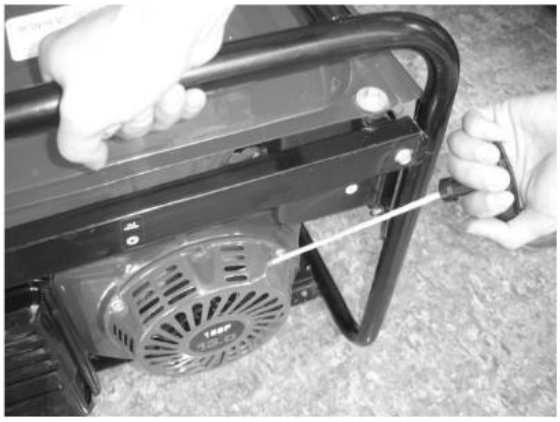
2．　燃料タンクスイッチを［ON］のところに回す。



3．　チョークロードを引出し、閉めます。



４．エンジンを起動



始動グリップのワイヤを引っ張って、エンジンをかけます。 注意！

・まず始動グリップを軽く引き、重くと感じたところで一旦止め。始動グリップを一度戻してグリップを勢いよく引くとエンジンがかかります。始動グリップは図の方向に引いて下さい。

・ワイヤを引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

・運転中はスタータワイヤを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

４．　エンジンが回転スムーズになったら、チョークロードを開け位置に戻します。

セル起動

１．　発電機のコンセントから一切の電器負荷を外してください。負荷をつないだ場合は、エンジンがかけにくくなります。

２．　燃料タンクスイッチを［ON］のところに回す。

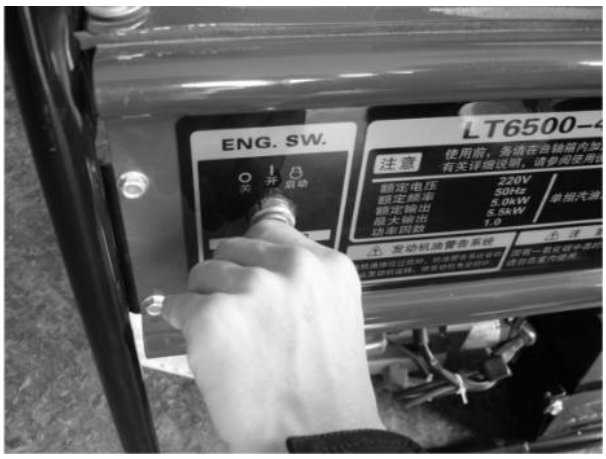
３．　チョークロードを引出し、閉めます。

４．　キーを起動位置に回して、エンジンを起動します。注意！　エンジンをかけるたびに、5 秒以内にして下さい。5 秒以内にはエンジンかからなかった場合は、10 秒待ってから再起動して下さい。

５．　エンジン起動後、キーを　［| 　ON］位置に戻してください。

６．　エンジンが回転スムーズになったら、チョークロードを開け位置に戻します。

注意！　セル起動が遅くなるときは、バッテリーに充電が必要です。

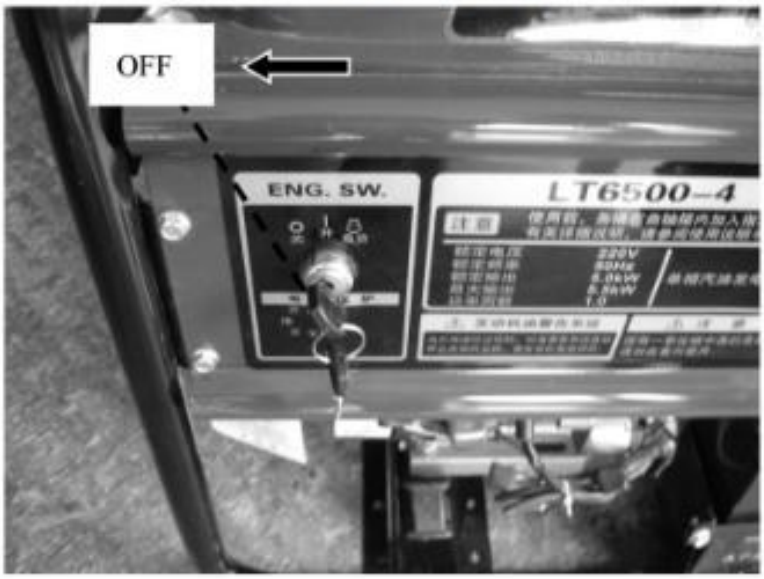


エンジンの停止方

緊急時の停止方：

1．　緊急時は直接エンジンスイッチを OFF にしてください。

セル起動発電機

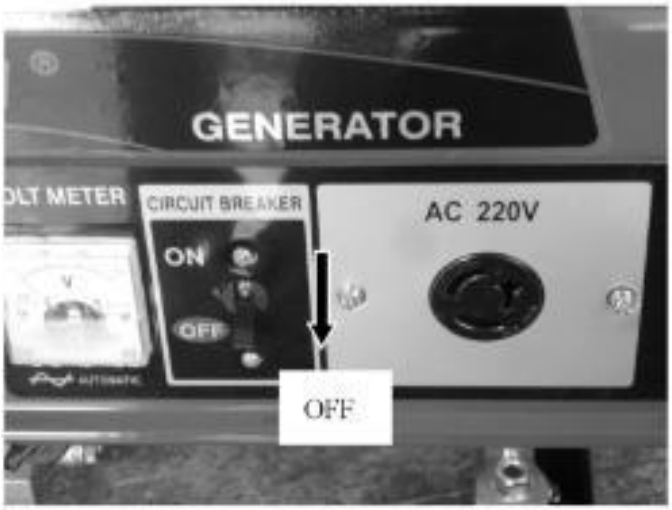


手動起動発電機

エンジンの停止方

通常時の停止方：

1．　交流ブレーカを OFF にする。



ブレーカ

2．　発電機のコンセントからすべての負荷電源コードをはずします。または直流充電バッテリーの充電コードを手順とおりはずします。

3．　エンジンスイッチを OFF にする。

4．　燃料タンクスイッチを OFF にする。

燃料タンクスイッチ

お手入れ

発電機を常に良好な運転状態に維持するため、お手入れは定期的に行って下さい。

警告！　発電機の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。お手入れを行うときは、エンジンを止めてください。またエンジンをかけながらのメンテナンスが必要な場合は、風通しがよいな場所で行って下さい。

注意！　交換パーツは弊社までご連絡ください。不適切な他社パーツは機体に弊害をもたらすことがあります。ホコリの多い場所では、メンテナンスの頻度を増やしてください。

(1) メンテナンスは専門知識のある専門業者にご依頼される事をお勧めします。

(2) 発電機を商業用途に使う場合は、使用時間を記録に残して、正確なメンテ間隔を把握して下さい。

エンジンオイルを交換

エンジンが熱いうちに、オイル抜きが早く、きれいに抜けます。

1．　オイル給油キャップを外します。

2．　排油ボルト、シーリング　ワッシャを外し、古かったオイルを抜きます。

3．　排油ボルトをきれいにし、場合により新しいシーリングワッシャを取り付け排油ボルトを確実に締め付けます。

4．　給油口の口元まで新しいオイルを注入します。

5．　注入後、オイル給油キャップをゆるまないように確実に締め付けてください。

注意！　古かったエンジンオイルを繰り返し、歳月渡って長期的に皮膚と接触すると、皮膚ガンになる率が非常に低いですが、メンテ後手をせっけんできれいに洗って下さい。また、抜いたオイルは環境保護のため、当地の法令に従い適切に処理してください。・オイルは使用しなくても自然劣化します。定期的に点検、交換を行って下さい。

長期間使用しないときの保管

３０日以上使用しないときは、タンクとキャブレータの燃料を抜いて下さい。古くなった燃料は故障の原因となります。

注意！　エンジン停止直後エンジン本体やマフラなどは非常に熱くなっています。やけどをしないように、各部が十分に冷えてから作業を行って下さい。

1．　発電機各部の清掃を行います。

警告！

発電機を水洗いしないでください。電装部品の故障やショートを起こす可能性があります。また湿気や凍結により使用時に感電するおそれがあります。

2．　エアクリーナを外して、ホコリを清掃します。

3．　燃料タンク、キャブレータ内の燃料を抜きます。燃料は自然に劣化します。必ず抜いて下さい。

警告！

ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こす恐れがあります。

・火気を近づけないで下さい。

・換気の良い場所で行って下さい。

・ガソリンはこぼさないでください。万一こぼれたときは、布きれなどで完全にふき取って下さい。ガソリンをふき取った布などは、火災と環境に注意して処分してください。

4．　始動グリップを引き、重くなったところでとめます。

5．　発電機が冷えていることを確認し、シート等をかけ、風通しのよい湿気の少ない所に保管します。次回使用時は、新鮮な燃料を入れてください。

ハイガー汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、
ハイガー・HAIGE 産業株式会社
〒370-0614　群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656
☎：0276-89-8605　　0276-89-8606
✉：support@haige.jp
URL：http://haige.my-store.jp/